

10 決まりを守って生活しよう

*道徳性・規範意識の芽生え
*協同性 *言葉による伝え合い

<リレーを楽しもう > 5歳 Ⅱ期

ねらい ◎友だちと力をあわせて走りぬこう

○楽しく安全に遊ぶために必要な決まりを自分たちでつくっていく

○年長児になり、リレー遊びが盛んになる。楽しんで取り組んでいるが「トラックの線で走る」「両チームの人数を揃える」といった決まりの必要性には気付いていない。

★トラックを引く、バトンを置いておく等幼児たちが好きな時にリレーを楽しめるよう準備しておく。

やったあ〜！こっちの勝ち！

ずるいわ！近道している



○去年の年長児のリレーを見た経験から「バトンをもらったら走る」といった大きなイメージはもっている。
○はじめは走ることが楽しい様子だが、少しずつ勝敗にこだわり始める。

▲幼児が繰り返し経験する機会を保障することで、幼児は自ら決まりの必要性を感じる。

△幼児から「それずるい」という気付きが出てくるのを待つ。

気付く

試す

今日も一緒のチームで走ろう



★幼児たちが主体的に決まりをつくることができるよう空間や時間を保証する。

★「リレー」という遊びの最初の決まり決めとなるので、クラス全体で話し合い、クラスみんなで意識づけられるようにする。

○一部の幼児が走っているコースやチーム人数等の違い、不平等さに気付く始める。
△どうしたら不公平でなくなるか一緒に考えてみる。

気付く

工夫する

あれ??こっち多くない?

○自分の気付いたことを言葉で伝える。
○友だちの話を聞いて必要な決まりを考える。

★ホワイトボードなど視覚的にわかりやすいものを準備し、クラス全体が話し合いに参加できるようにする。

○決まりが加わったことでより公平な勝負となり、おもしろさや達成感が増した。
○クラスの集団としての意識が高まった。

粘り強く取り組む・挑戦する



△普段の様子を踏まえて、気付いていそうな幼児に投げかける。
△クラス全体が話し合いに参加できるような雰囲気をつくる。
△「決まりがあることでより楽しくなる」という幼児の気持ちに共感する。

遊びの中の豊かな学び

- ・友だちと同じ目的を達成するために力を合わせたり話し合いをする
- ・人数の違いに気付き、数量への関心を膨らませる
- ・戸外での遊びを十分楽しみ、自然に触れることを喜ぶ

評価の観点

- ・一人ひとりが決まりを守ることの大切さに気付いているか
- ・話し合いの中で平等・公平などに気付いているか
- ・話し合いを経験することで、聞くことの大切さに気付いているか